

【小学校 算数】

《おおむね理解している問題》

- ◇ 速さが一定であることをもとに、道のりを歩くのにかかる時間を求める問題 **正答率：約7割**
・3分間で180m進む速さで歩き続けた時、1800mを歩くのにかかる時間を求めることができます。

《課題がみられた問題》

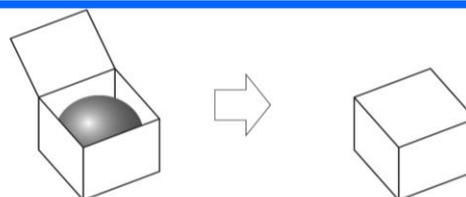
- ◆ 球の直径を基に立方体の体積を求める問題。

正答率：約3割

- ・直径22cmの球の形をしたボールがぴったり入る立方体の箱の体積を求める式を書くことに課題がみられます。

課題がみられた問題

(3) 直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。

この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

《今後の学習の手立て》

図形の学習では、面積や体積を求めるために「図形のどの部分の長さが必要か」を判断する場面を設定することが大切です。面積や体積を求めるために必要な辺の長さを見い出すことには経年的な課題が見られます。

公式を用いて面積や体積を求めることができるよう、必要な辺の長さが図に示されている教科書などの問題を用いて基礎基本の習得を確実に図ります。また、多くの辺の長さが示されている問題を提示し、面積または体積を求めるために必要な辺の長さを選択させ、判断理由を説明させる学習場面を設定します。そして、今回の調査問題のように、辺が一部または全部示されていない図を提示し、問題場面の他の情報から面積や体積を求めるために必要な辺を見出し、立式する学習も意図的に設定していきます。

児童質問調査からみられた好ましい傾向

菟野町の子どもたち

人の役に立つ
人間になりたい
96.2%
(全国 95.9%)

先生は、
あなたのよいところ
を認めてくれて
いる
92.7%
(全国 89.9%)

いじめは、
どんな理由があっても
いけないことだと思
う
97.9%
(全国 96.7%)

人が困っているとき
は、進んで助けている
93.0%
(全国 92.7%)

※子どもたちが児童質問調査で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

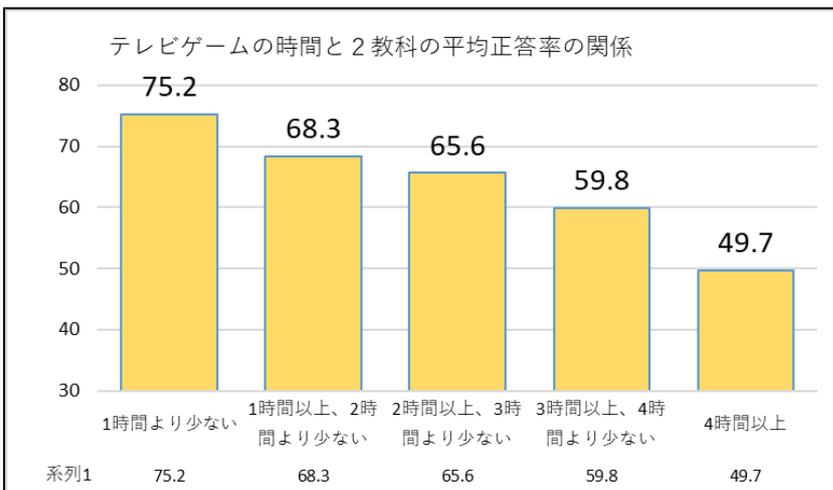
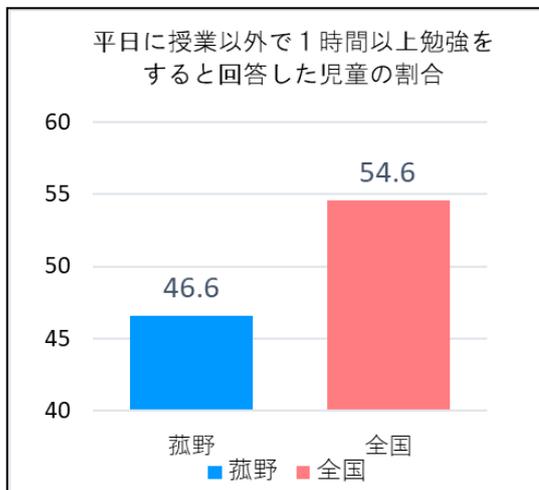
菟野町では、教育活動全体において、子どもたちを認めたり、考えや思いを受け止めたりしながら自己肯定感を育むこと、互いに認め合い支え合える人間関係づくり、安心して学べる学習環境づくりを大切にまいりました。今後も、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向かって可能性を伸ばしていけるよう一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を進めてまいります。

また、菟野町の子どもたちは、保護者・地域の皆様に支えられ、すこやかに成長しています。今後も保護者・地域の皆様と連携・協働して地域ならではの特色を生かした学校づくりを進めてまいります。

ご家庭でお願いしたいこと

児童質問調査からみられた課題

Q 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



授業以外で1時間以上勉強をしていると回答した児童の割合は、昨年度に引き続き全国と比べて低い傾向にあります。

テレビゲーム（コンピュータや携帯、スマートフォンを使ったゲームを含む）を長時間している児童ほど、2教科の正答率が低い傾向にあります。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

子どもたちに学校で学習した内容を定着させるためには、家庭での学習習慣を身につけさせることがとても重要です。繰り返しの練習や授業の予習・復習に日常的に取り組むことで、基礎・基本が確実に定着していきます。

子どもたちが毎日の家庭学習に取り組むことができるように、励ましの声かけや学習に集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

また、ゲームをする時間やスマートフォン、タブレットの使用時間が長時間とならないように、見守りや声かけもお願いします。

菟野町では、家庭学習の充実ために「家庭学習の手引き」を作成し、子どもたちと保護者の皆様に配付しています。「家庭学習の手引き」をご活用いただき、お子さんと一緒に家庭学習の取り組みについて、振り返っていただきますようお願いいたします。

保護者・地域の皆様へ

菟野町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」の育成をめざして、子どもたちが「わかる・できる喜び」を実感できる授業改善と学力向上に向けた取り組みを進めてまいります。

今後も、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。